

令和5年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立和泉支援学校
校長名	野口 淳司

開催日時	令和6年2月7日(水) 10:00 ~
開催場所	大阪府立和泉支援学校
出席者(委員)	藤井会長、中田谷委員、永井委員、今村委員、神山委員
出席者(学校)	野口校長、大原教頭、橋本教頭、奥野事務長、山本昇首席、東首席・高等部主事 阿部首席・米田中学部主事、山本幸子首席、山本真也小学部主事
傍聴者	
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第3回学校運営協議会 次第 ・令和5年度第3回学校運営協議会について ・令和5年度学校経営計画及び学校評価 ・令和6年度学校経営計画 ・学校教育自己診断結果報告 ・授業参観アンケート

議題等(次第順)

- (1) 令和5年度学校経営計画の達成状況について
- (2) 学校教育自己診断について
- (3) 授業アンケートについて
- (4) 令和6年度学校経営計画について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1) 令和5年度学校経営計画の達成状況について(承認)
 - (2) 学校教育自己診断について(承認)
 - (3) 授業アンケート(承認)
 - (4) 令和6年度学校経営計画について(承認)
- <意見等>
- (1)について
 - ・授業スタンダードが役に立ったと、教員の肯定率が86%あるが、もっと上がってもいいのではないか。
 - 昨年度授業スタンダードについて検討し、今年度研究授業で授業スタンダードに基づいた授業づくりに取り組んだ。初年度としては肯定的な意見が多かったと考えている。来年度は各教科に落とし込んで取り組む予定で、今後の活用を進める中で肯定率がどのように変化するか注目する必要がある。
 - ・進路保障の部分で保護者対象の見学会を4か所で10回実施したとあるが、対象の保護者は何年生ですか。
 - 全学部の見学会が対象になっている。
 - ・事業所への積極的な情報発信と何か。
 - 事業所に本校の状況を発信し、本校生徒の卒業後の進路を考えるために必要な情報を得る機会を設けている。(福祉事業所合同説明会)
 - ・チャレンジコースの新たな取り組みとは。
 - 今までは週2コマの授業だったが、5コマに変更し、教育課程から見直し、外部講師に来ていただいたの清掃講習や卒業後のための公共交通機関の乗り方などを学習予定である。
 - (2)について
 - ・教職員の労働環境の改善にむけて、何に原因がありますか。
 - 業務量の多さに原因がある。労働環境の改善に向けたアンケートをとり、具体的な対策を検討していく。
 - ・学校は他機関との連携について情報を提供し、必要に応じて支援を進めているとあるが、どのような情報を提供しているか。
 - 個々のケースによって違うが、必要に応じて他機関と情報共有を行っている。保護者への情報発信については検討課題である。個別の支援計画を学校だけで作成するのではなく、他機関と連携して作り上げる必要がある。
 - ・学校の施設、設備についてどこに問題があるか。
 - 老朽化しているので、日々どこかが修理、改修依頼がある現状である。学校全体の修繕等の計画を立てているが、予算の問題があるため難しい。
 - (3)について
 - ・3学期の授業アンケートを含め「お子さんは意欲的に課題に取り組めたか」が89%。他の4項目は92%~97%の肯定率であった。
 - (4)について
 - ・学校経営計画について、こんな多岐にわたるものなのですか。
 - 府立学校に対する指示事項をもとに作成しているので多岐にわたっている。

次回の会議日程

日時	令和6年6月5日(水)
会場	府立和泉支援学校